

吟道賀堂流 31 回吟士権大会報告

9月10日(日)、兵庫県揖保郡太子町の「太子町立文化会館」で、賀堂流の第31回吟士権大会が行われました。大会宣言の後、宗家からごあいさつと、

出場規定について

- ・第一部は、入会間もない会員も出吟できること
- ・第二部は、四段から修士までの段位有資格者と77歳以上を80歳以上に変更したことの説明がありました。長岡京吟詠会からは、24名の会員が参加しました。文化会館が不便なところにあるということもあり、大型バスをチャーターしての移動で、行き帰りがとても楽しくゆったりと行くことができました。結果は、五部(和歌・俳句)で米山さんが準優勝となり良かったです。



市丸賀秀知

京都府詩吟連盟創立60周年、 京都府吟剣詩舞道総連盟 創立45周年記念祝賀会の報告

9月10日、記念祝賀会がホテルオークラ京都で開かれました。賀堂流京都本部が所属する「京都府詩吟連盟」が創立してもう60年、「京都府吟剣詩舞道総連盟」が創立して45年になるのかと感動する祝賀会でした。会場は、335名の会員と京都府の古川副知事ほか京都府議会議員、京都市の門川京都市長ほか京都市議会議員、国会議員の勝目衆議院議員、吉井参議院議員、詩吟関係では、愛国詩吟総連盟からは、池田理事長ほか役員の方、公益財団法人日本吟剣詩舞連合会からは、沼崎会長ほか役員の方、また大阪府、兵庫県、奈良県、滋賀県の府県詩吟団体責任者の方々30名のご来賓をお招きしての盛大な祝賀会となりました。記念式典では、長岡京吟詠会創設者 千阪賀秀先生作詩の「京都府詩吟連盟詩」を合吟、ご来賓のご祝辞の後、祝賀の吟舞が披露されました。

そのあとの懇親会では、各会派のかくし芸が披露され、最後は「福知山音頭」を会場の皆さんで踊るという楽しい祝賀会となりました。次回から、京都府連の歴史をシリーズでご紹介します。お楽しみに。

本庄賀秀峰

祝 速報!! 全国で4位です!!

9月17日、東京で開かれた(財)日本吟剣詩舞振興会主催の全国吟詠コンクールで高橋拓来君が「幼年の部」で4位、上位入賞の素晴らしい成績でした。(事務局)



式典

日本コロンビア吟詠音楽会 京都地区決戦大会

8月27日に、右京ふれあい会館で日本コロンビア吟詠音楽会京都地区決戦大会が行われました。当会から三名出場され、皆さん素晴らしい成績でした。

- ・第一部(幼少年の部)
高橋拓来くんが優勝し、全国吟詠決選大会(11月4日、大阪)に出場します。
- ・第四部(七十六歳以上)
橋本賀秀司さんが三位入賞。
- ・第五部(和歌の部)
米山賀秀琳さんが二位入賞。

日本コロンビアのコンクールは、尺八の生演奏で伴奏してくれ、自分の速さに合わせてくれるのでとても詠いやすいです。来年から、皆さんもぜひ参加されてはいかがでしょうか。



会場風景



各会派芸



福知山音頭

R5/10・11月の予定一覧

- 10/ 1(日) 【愛連二部決勝大会】
尼崎アルカニックホール
- 10/15(日) 【定期発表 2】
長岡京こらさ
- 10/25(水) 【長岡京吟詠会吟士権大会の審査員研修会】
- 11/ 5(日) 【長岡京吟剣詩舞大会・吟士権大会】
- 11/26(日) 【京都府詩吟連盟・吟剣詩舞総連盟吟詠
・剣詩舞道祭】
宇治文化センター

ぎんまい長岡京9月号で定期発表会(2)の日になりが10月25日となっていました、正しくは10月15日(日)です。訂正しお詫びいたします。

私と詩吟の出会い 私にとっての詩吟の効能

秀邦詩吟クラブ 田中俊二郎

詩吟と言えば「ベンセイ シュクシュク…」しか知らなかった私が詩吟をはじめた4年が経ちました。うまくいかないことが多い中、身についたこともあります。それを紹介します。

(1)度胸がある程度ついた

当初は人前で詠うことはとても苦手で緊張したのですが、回数を重ねることで緊張することが減ってきました。

(2)古典や歴史の教養・知識が深まった

昔から詠い継がれてきた名詩ばかりなので、繰り返し吟じることで心が少し豊かになったように思います。

また、作者の生きた時代を調べたり、ゆかりの地を訪ねたりすることが楽しくなってきました。

詩吟の効能はまだまだあるようなので、更に経験を積むことで身につけていきたいと思っています。



ほっと一息、休憩タイム

これも研修!?まるで修学旅行みたい!

(財)日本吟剣詩舞振興会の詩吟の研修で、いろいろなところに連れて行ってもらいました。

京都では10か所ぐらい行ったように思います。宝ヶ池、仁和寺、京北ゼミナールハウスなどなど。

琵琶湖畔のホテル、研修センター、天橋立、書写山、神戸港からの豪華客船による宮崎までの旅。

いつも高名な先生による研修でした。

湘南国際村センターの夏季吟道大学では、船川利夫先生などたくさんの先生の講義を聴くことができました。

横やん

シリーズ【詩吟と空手】その3 尻枝賀秀道 「空手道」(「詩吟」)道上達のための基本姿勢

「詩吟」のお稽古で先生からご指導いただいたことは、50年間続けてきた「空手」と全く同じでした。

①真剣にやれ

空手道の修練に当たっては、一挙一蹴いっけんいっしゅうもおろそかにしてはいけません。

一挙を持って相手を突くにしても、「つきそこなったら自分がやられるんだ」というくらいの覚悟を持って修練を積んでいけば、術技も著しく上達し、空手道の神髄も体得できるものです。

詩吟も常に聞く人に感動を与えたいという気持ちで真剣に取り組むように教わりました。

②数を重ね反復練習せよ

どんな人でも、数を重ね、黙々と刻苦反復修練している人は強いものです。

他人が形を10回やれば、自分は100回やるくらいの気概を持ってしなければなりません。

詩吟もお稽古の時だけではなく、一人の時でも常に声出しや朗吟の練習を繰り返しすることが大切だと教わりました。

③基本技を重んじて修練せよ

空手道の上達には、まず基本技を十分に修練し、正しい術技を身につけることです。初心の間に、少しでも気を抜いて自己流の修練を行うと、すぐ悪い癖がついてしまつてあとで矯正するのに骨が折れます。

詩吟も「基本姿勢」、「発声法」や「基本音階」、「基本符節」など詩吟の基礎知識、賀堂流の基本をしっかりと修練し、学ぶことを教わりました。

④良師に学べ

空手道だけでなく、どんなけいこでも良師に学ぶことが大切です。良師は、子弟をして、つねに自分より優れた人物になってもらいたいと願うからこそ、うるさく厳しいのではないのでしょうか。また、教える側になったとき、安易に形だけの指導をしてはいけません。

詩吟も、教える立場になれば、教える立場になったことに慢心せず、つねに自分を超越する吟者を育てられるように、自らも自己研鑽に努めることが必要だと教わりました。

⑤実技と理論は並行して学べ

実技と理論の勉強とは、両方相まって初めて功を奏するものですから、一方にかたよるのは上達の道ではありません。どんなに理論的に空手を研究しても、実際の修練が不熱心であれば、とっさの場合に理論通り身体が動かず、術技を施すことができないものです。

詩吟も同じで、理論的な勉強が必要です。長岡京吟詠会では「一般研修会」を実施しています。ぜひ参加してください。

⑥慢心するな

空手道の技が少しできるようになると、慢心やうぬぼれを起こして傲慢になり、肩ひじをいからせて大道狭しと闊歩する人がいます。そればかりか、師範の教を軽んじ、先輩を非難、侮蔑するようになります。しかし「天狗は芸の行き止まり」と言われるように、もうその人の空手道は、それ以上決して進歩するものではありません。

詩吟も長岡京吟詠会や京都府連で入賞しても満足せず、更にその上を目指して日々修練することで、周りからも認められるようになるのではないのでしょうか。



『ぎんまい長岡京』 編集室
編集委員長 尻枝賀秀道
編集委員 市丸、櫻澤、後藤、宮小路
※連絡・問合せ先 尻枝賀秀道

Tel: 075-954-9092